学校番号	２０６

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史特習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「日本史探究」　（実教出版）						
副教材等	最新　日本史図表　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主体性をもち、国際社会における多様な価値観や文化を認め、平和で民主的な国家および社会の形成者に必要な資質能力の育成をめざします。
・講義形式のほか、自ら考え、発言できるような授業形態もとります。
・単語の暗記だけではなく、歴史的事実に関する原因・結果の因果関係を理解し、また、その歴史的事実が現在の自分にどうかかわるのかを考えます。
・資料（史料）の読み取り、問題演習なども積極的に行います。
・中学校・「歴史総合」で習ったことが基礎知識としてあることを前提に授業を進めます。教科書は事前に読んでおいてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・１年次の「歴史総合」で培った諸事象についての考察力を活用し、２・３年次の「日本史探究」で必ずしも十分に学習できない分野を補完・補充することにより日本史学習の完成を図ります。
【思考力、判断力、表現力等】
・日本史の理解に必要な基礎事項の習得・定着を図り、世界史とも関連付けながら、歴史的諸事情に対する考察を深めるための情報を調べ、まとめる技能を身につけることをめざします。
・日本史の各時代の意義・特色や時代の変化にかかわる特徴を、諸資料を読み解いて多面的・多角的に考察する力を身につけ、それを論理的に説明・議論する力を育成することをめざします。
【学びに向かう力、人間性等】
・各時代における諸問題について、諸資料に基づいて主体的に課題を設定し、多様な意見を考慮しつつ、課題解決のために持続的に考察できる力の育成を図ることをめざします。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本史の理解に必要な基礎事項を習得・定着させ、世界史との関連を意識し、歴史的諸事象に対する考察を深めるための情報を調べ・まとめる技能を身につけている。	日本史の各時代の意義・特色や時代の変化にかかわる特徴を、諸資料を読み解いて多面的・多角的に考察する力を身につけ、それを論理的に説明・議論する力を身につけている。	各時代における諸問題について、諸資料に基づいて主体的に課題を設定し、多様な意見を考慮しつつ、課題解決のために持続的に考察できる力を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第３章中世の国家・社会の変容 第３部第１章東アジアの世界の変容と天下統一	第３章 ５．戦国大名の分国経営 第３部第１章 １．織豊政権 ２．天下統一の完成 ３．近世成立期の文化	第３章 a:・都市の自立，多様な文化の形成や融合などを基に，地域権力の成長，社会の変容と文化の特色を理解している。 b:・社会や経済の変化とその影響，地域の多様性，社会の変化と文化との関係などに着目して，主題を設定し，中世の国家・社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c:・諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。 第３部第１章 a:・織豊政権の政治・経済政策，貿易や対外関係などを基に，中世から近世への時代の転換を理解している。 b:・村落や都市の支配の変化，アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して，中世から近世の国家 ・ 社会の変容を多面的 ・ 多角的に考察し，表現している。	・定期テスト	・定期テスト ・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り	・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り

			・時代の転換に着目して，近世の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 c：・織豊政権の成立前後からの歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。			

2学期	第2章幕藩体制の成立と展開 第3章近世の国家・社会の変容	第2章 1．幕藩体制の成立 2．貿易の統制と対外関係 3．近世社会のしくみ 4．幕府政治の展開 5．経済の発展 6．元禄文化と学芸の発展 第3章 1．幕藩体制の動揺と幕政の改革 2．欧米列強の接近と天保の改革 3．近世文化の成熟と変容	第２章 a:・法や制度による支配秩序の形成と身分制，貿易の統制と対外関係，技術の向上と開発の進展，学問・文化の発展などを基に，幕藩体制の確立，産業の発達，近世の社会と文化の特色を理解している。 b:・織豊政権との類似と相違，アジアの国際情勢の変化，交通・流通の発達，都市の発達と文化の担い手との関係，社会・経済の仕組みの変化，などに着目して，主題を設定し，近世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c:・近世の国家・社会の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。 第３章 a:・産業の発達，飢饉や一揆の発生，幕府政治の動揺と諸藩の動向，学問・思想の展開，庶民の生活と文化などを基に，幕藩体制の変容，近世の庶民の生活と文化の特色，近代化の基盤の形成を理解している。 b:・社会・経済の仕組みの変化，幕府や諸藩の政策の変化，国際情勢の変化と影響，政治・経済と文化との関係などに着目して，主題を設定し，近世の国家・	・定期テスト	・定期テスト ・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り	・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り

			社会の変容について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c:・近世の国家・社会の変容に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。			

3学期	第4部第1章開国から倒幕へ	第1章 開国から倒幕へ	第４部第１章 a:・対外政策の変容と開国，幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に，近世から近代への時代の時代の転換を理解している。 b:・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化，政治・経済の変化と思想への影響などに着目して，近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し，表現している。 ・時代の転換に着目して，近代の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 c:・幕末の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・定期テスト	・定期テスト ・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り	・レポート課題 ・討論や発表 ・学習の振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度